



研究者名※	川崎 公平 KAWASAKI Kohei	学位※	博士(文学)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	准教授
連絡先	kawasakik@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/koheikawasaki		
研究分野※	人文学、芸術学		
研究キーワード※	映画論、表象文化論		
共同研究・競争的資金等の研究課題	戦後日本の映像・図像メディアにおける恐怖と身体の表象についての重層的研究(科学研究費・特別研究員奨励費・研究代表者、2011～2014年)		
社会貢献・産学官連携活動等	川崎市多摩区市民提案型協働事業(磨けば光る多摩事業) 審査委員会委員(2018年～)		
受賞歴			

研究領域	映画論、映像論、日本映画研究	(SDGs)
研究テーマ※	戦後日本映画における「恐怖」と「二重性」	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 戦後日本における「恐怖」に関わる映画作品(とりわけ怪談映画とスリラー映画)を対象とし、それを「二重性」という観点から分析する。作品内で恐怖や不安をもたらすものとして現れる人間や世界の二重性を、映画やイメージそれ自体が孕む二重性と関係づけることによって、そこに戦後日本の社会的不安がいかに表象されているかだけでなく、「恐怖」という情動をもたらす視覚メディアの「体験」がそこに根本的に重なりあっていることを明らかにしようとしている。(戦後日本-恐怖-視覚メディア)の関係を重層的に捉える視点によって、戦後日本映画史の新たな一面を照らし出すとともに、そこでの「世界」や「人間」に対する認識のあり方を明らかにすること。これが研究の目的である。</p> <p>【応用例、研究の展望】 ・「恐怖」と「映画」とを根本的に関係づけた、日本ではじめての本格的な恐怖映画史を記述することを目指している。 ・「二重性」という視点は、恐怖ジャンルのみならず、戦後日本映画全体の新たな視点からの再考へと展開しうるものと考えている。</p>	
本研究関連特許・論文等		
共同研究・外部機関との連携への期待		